

柔道整復科

解剖学1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	砂川正隆			実務経験	無	職種	0				

授業概要

人体のしくみと成り立ちを学ぶ学問であり、疾病の原因またはその治療にあたる人には欠かすことのできない学問である。各器官を系統立てて学ぶ。

到達目標

人体の構造を理解し、臨床医学を理解する上の基礎を培うことが目標となる。単なる名称の暗記ではなく、その構造の意味を常に考え、理解するように心がけること。

授業方法

講義形式にて授業を行う。初学者の学習の都合上、教科書は器官系ごとの記載となっているが、実際に必要な知識は、周囲とのかかわりを含めた局所レベルでの構造（局所解剖学）となる。さまざまな図を用いて人体構造の立体的な理解を目指す。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（解剖学－社団法人全国柔道整復学校協会監修－）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	概説1/概説2（細胞・組織・発生・解剖学用語について理解する）
第2回	概説3/概説4（細胞・組織・発生・解剖学用語について理解する）
第3回	概説5/概説6（細胞・組織・発生・解剖学用語について理解する）

第4回	概説7/概説8（細胞・組織・発生・解剖学用語について理解する）
第5回	概説9/概説10（細胞・組織・発生・解剖学用語について理解する）
第6回	脈管系1/脈管系2
第7回	脈管系3/脈管系4
第8回	振り返り(1)
第9回	脈管系5/脈管系6
第10回	脈管系7/脈管系8
第11回	脈管系9/脈管系10
第12回	消化器系1/消化器系2
第13回	消化器系3/消化器系4
第14回	振り返り(2)
第15回	消化器系5/消化器系6